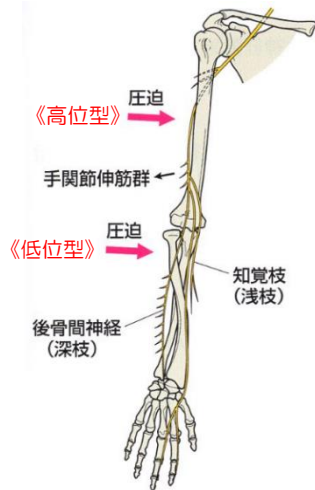


# 1. 橈骨神経損傷

## 1-概要

- 上腕部の圧迫や、上腕骨骨幹部骨折により橈骨神経が損傷をきたしたもの



## 2-原因

- 長時間の不良肢位での圧迫が原因となることが多い

⇒睡眠時の不良肢位  
 “Saturday night palsy”  
 “Honeymoon palsy”



⇒腋窩の圧迫 (松葉杖 etc)



## 3-症状

- 手関節の背屈障害や、母指/示指/中指背側の感覚障害

【下垂手】 下垂手指



【下垂指】



## 4-治療

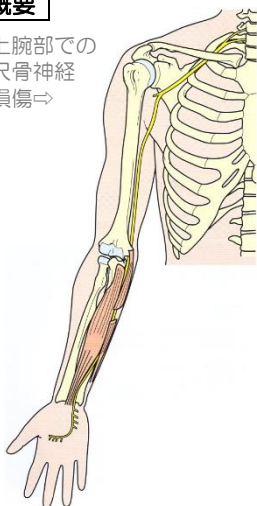
- 《保存療法》
  - ・ADL 動作指導
  - ・装具療法⇒ “cockup splint”
- 《観血療法》
  - ・骨折による神経断裂時



# 2. 尺骨神経損傷

## 1-概要

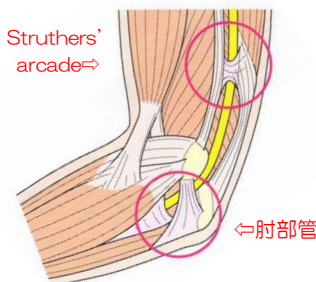
- 上腕部での尺骨神経損傷⇒



## 2-絞扼部位

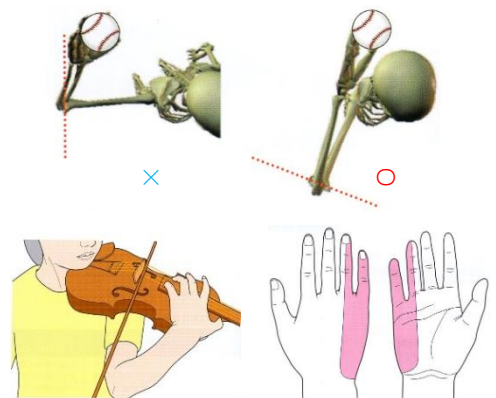
### 《ストラザースアーケード》

- ・上腕三頭筋内側頭や上腕深筋膜が作る腱弓。
- ・上腕遠位 1/3、上腕骨内側上顆近位 8cm に存在。



## 3-原因

- 野球、バレーボール、バドミントンによる肘関節 屈曲+外反 負荷で発生する



# 3. その他注意すべき疾患

## ※『パネコースト症候群』

- 肺尖部の腫瘍が、胸壁や頸部に浸潤したもの。頸部～上腕の疼痛、ホルネル徴候、手指の筋萎縮が見られる。



- 《治療》
- ・放射線療法
  - ・化学療法が主体



## ※『頸肩腕症候群』

- 頸部～肩上肢に症状が生じるものの中で、原因が明確でないものをいう。
- 若年女性や長時間 PC 作業者に好発、かつてはキーパンチャーやタイピストの労働災害として知られ、キーパンチャー症候群とも呼ばれた。



ご清聴ありがとうございました。